

## 2007~2008年度 第1回 国際奉仕・WCS委員長会議 報告

地区国際奉仕・WCS委員会

委員長 宮里 唯子

(茨木西RC)

日時:2007年7月21日(土)9:30~11:30

場所:薬業年金会館

出席者:新谷秀一ガバナー

地区財団法人道的補助委員会 辻川功一副委員長

地区国際奉仕・WCS委員会 宮里唯子委員長および委員

地区内クラブ2007~2008年度 国際奉仕・WCS委員長

会議は定刻に、新谷Gの挨拶で始まりました。今年度から国際奉仕とWCSが統合され、これまでの成果を踏まえてより充実した活動を期待する、というお話の後、いつでも聞ける・いつでも教えられる態勢作りを目指す姿勢を示されました。

その後、宮里委員長から、国際奉仕とWCSの定義・意義についての基本的な解説があり、マッチンググラントやDDFの取得についての言及がありました。2660地区はWCS活動が大きな成果をあげている地区だけに、中間報告や最終報告、各クラブと地区委員会との連携が重要になってくることを改めて強調しました。

次に、地区財団法人道的補助金委員会の辻川副委員長が『より良い世界を築く人道的プログラム』のビデオを使って活動の成果を紹介し、貧困に直面する国が自立できる産業を育成するためロータリアンはどんな役割を果たし得るのかを解説しました。

今回の活動報告は、まず始めに大阪咲洲RCの荒石委員長からフィリピンにおけるメディカル・デンタルミッションのお話をいただきました。将来悪化しそうな歯を予防の

ために抜くというのは日本では考えられないことですが、次に歯医者にかかれるのはいつになるか判らない地域では必要なことでしょう。あわせて、歯ブラシの無料配布や歯磨きの指導なども行ったとの報告でした。また、内科・小児科検診も行い、ビタミン剤の投与など行ったとのこと。いずれも現地の医療スタッフとの共同作業でした。

二つ目の発表はタイ・パヤオ県の水プロジェクトで、八尾中央RCの吉駒氏からの報告でした。劣悪な飲料水を飲む子供たちを目の当たりにし、浄化装置の必要性を痛感しました。また、子供たちに現実の問題として降りかかる人身売買を阻止し、教育を継続するための環境づくりを早急に進めなければならないことが、映像を通じて理解できました。これは現在進行中のプログラムで、一つでも多くのクラブに協力してもらい、一人でも多くの子供たちを救えるきっかけにしたい発表でした。

最後に基金収支報告の後、新谷Gからの講評をいただき、会議を終えました。

当日、ご多忙の中、出席いただいた皆様に御礼を申し上げます。

